



南国新聞

第 8 2 号

昭和41年11月30日

編集発行
南国市広報委員会
事務所
高知県南国市役所内
(電 2111)

印刷 川北印刷株式会社
(電 3151・有線155-11)



みかん 王国へ

市北部の里山はかんきつの適地として、モデル開墾地の指定を受け、三十六年から栽植し、年々増殖されています。

これらのみかん園は個人によるものと、共同出資によるものがあり、ここ小倉農園はいちはやく開墾栽植され、共同出資によって経営されているもので、現在、収

穫の最盛期をむかえ美しく色付いたみかん園で、十数人の人たちが忙しく働いています。また、レジャーとしてのミカン狩りに開放し、利用されています。

市で産出される「南国ミカン」は、優良果実として市場で好評をくわしています。

小倉農園(白木谷)にて

▼だがなんといっても市の発展は四通八達した交通網によることは論をまたないことであるが、住民の意欲そのものにも欠がせない要素が含まれている。▼現在の後免町付近の町づくりには、なんとなく活気がみられないように思われてならない。いくら住宅が増えていくといっても、無計画で建てられていたのでは野放図に暮らさぶべきことではあるまい。▼つけなくてはならない市道も通せなくなつてはあとのまつりである。住民に活気がみられないのも計画のないところに原因があるので、はなからうか。せひ行政に動きを入れてもらいたいものだ。



かねて建設省に依頼してあった市の都市計画のマスタープランができてきた。それによると、高知市の衛星都市としての位置づけによる発展が考えられており、中心部の後免町周辺の人口は五十年後に四万人であるとみられている。

10月の人口

＝9月の異動＝

出生	93	死亡	93
転入	860	転出	554
7月末の人口		42,644	
世帯数		7	
7月末		11,537	